

令和6年度 第5回 川口市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 議事録

開催日時 : 令和6年11月26日(火)
午前9時30分から
開催場所 : 第一本庁舎601会議室

■出席委員

加藤分科会長、堀田副分科会長、安藤委員、飯塚委員、糸永委員、大野委員、菊地委員、笹川委員、鈴木委員、山南委員、渡邊香織委員

■欠席委員

岡田委員、長沢委員、宮崎委員、渡部大輔委員

■事務局出席者

子ども総務課：五十川次長、松下課長補佐、岩田係長、仲田主任、花岡主任、鈴木主事

子育て支援課：狩野次長、後藤係長

子育て相談課：駒木理事、福田課長補佐

保育運営課：栗原課長、井藤課長補佐

保育幼稚園課：岡田課長、沼知係長、木内係長

青少年対策室：小山次長、久保田主幹

健康増進課：五十嵐次長

地域保健センター：諸橋センター長

学務課：岩井主幹、小方係長

指導課：池田次長、安島主任指導主事

(仮称)川口市子ども計画策定支援等業務委託受託事業者：株式会社名豊 1名

■傍聴者：1名

■配布資料

次第

資料1 川口市子ども未来計画に記載する「量の見込みと提供体制」について

資料2-1 川口市子ども未来計画素案 主な修正箇所一覧

資料2-2 川口市子ども未来計画素案

資料3 川口市子ども未来計画(素案)にかかるパブリック・コメントの実施等について

1 開会

2 議事

(1) 量の見込みと提供体制について

○事務局

資料1について説明

○委員

妊婦等包括相談支援事業について、母子健康手帳の交付時以外に何回程度の面談をしているのか。

○事務局

現在は、全ての妊婦と母子健康手帳の交付時に面談しているほか、妊娠8か月の時点でアンケートを送付し、必要に応じて面談を行っている。更に出産後の新生児訪問の際に面談を行っている。

○委員

妊娠8か月の時点では、必要な妊婦に対してのみ面談を行っているのか。

○事務局

あくまでも必要なかた、あるいはこちらが必要と思うかたと面談を行っている。

○委員

面談は多くて3回であるか。

○事務局

さらに多くの面談が必要なかたもいるので、必要に応じて行っている。

(2) パブリック・コメント資料について

○事務局

資料2-1、資料2-2、資料3について説明

○委員

産後ケア事業について、市としては利用ニーズが高まっていくと見込んでおり、受け皿を増やしていく方向で考えていると思うが、実施する施設としては、経営面で少し難しいと感じている。来年度以降、実施する施設が健全な経営をできるようにするため、意見交換の場を設けていただきたいと考えている。利用した母親からは、利用して良かったという声が多く出ていると思うので、利用したいかたが自由に利用できるような形で産後ケア事業を継続できるように、実施施設と市が相互で考えていきたいと思う。

○事務局

産後ケア事業の実施については、日頃よりご尽力いただき、非常に感謝している。利用した母親のアンケートを見ても、利用してすごく良かったという声が多く、良い事業だと考えている。これから受け皿を増やすに当たっては、財政的な課題もあるので、意見交換の場を設けたいと考えている。

○委員

パブリック・コメントの募集の仕方に関して提案がある。市の広報などで、パブリック・コメントの募集を見かけるが、自分が答えて良いのかなどが分からず、躊躇してしまうことがある。意見をもらいたい内容や対象者について、広報誌の紙面に限りがあるということであれば、ホームページなどでアピールすると色々な意見が出ると思う。コメントしたくなるような一言を載せてもらいたい。また、この会議でもこどもの表記について何度も議論があったが、こどもの表記についての説明をしておけば、表記に関

しての議論や意見が出るものが減ると思う。

○事務局

パブリック・コメントの募集の方法について、広報誌については、委員ご指摘のとおり紙面の都合、形式的なものになるが、ホームページの掲載方法については工夫したいと思う。こどもの表記については、説明を載せるようにする。

○委員

パブリック・コメントを募集するからには、多くの意見が集まって欲しいと思う。これから出産、育児を担う世代や「こども」と定義される層のかたは、このような計画に関心があっても、目にする機会や習慣がないと思う。こうした方々に意見を聴いてみると、様々な思いやこれからの未来に対する考えが出てくるかと思う。どのように意見を汲み取るかは大変難しい問題だと思うが、パブリック・コメントを充実させるための手段について検討してもらいたい。

○委員

ホームページに計画書を載せる際に、目次をクリックすると該当箇所に飛ぶような設定はできるか。

○事務局

委託業者に確認する。

○委員

計画素案はおそらくデジタルブックではなくPDFで載せるのだと思うが、目次でトピックスについて触れておけば、突然トピックスが出てきた時に戸惑わずに済むと思う。

○事務局

委託業者と調整する。

○委員

パブリック・コメントの募集についてポスターを作り、ホームページに掲載することはできないか。

○事務局

今回は、ポスターでの周知が時間的に難しいので、次回の検討材料としたい。

○委員

今後の参考としての意見だが、84ページの「多様な働き方と子育ての両立支援」について、子ども育てながら働く際に1番ネックになるのは職場の理解だと思う。今回の計画には「育児をシェア！！～みんなで楽しもう」フォトコンテストが記載されているが、子育てしながら働きやすい職場のコンテストのようなものを開催し、市内の事業者に向けて発信すると、啓発になり、企業にとってもPRになって良いと思う。子育て世代のみならず、事業者に対しても、簡単なキャンペーンのような取り組みから始められると良いと思う。

○事務局

男女共同参画計画の中には、企業の取り組みに関する記載がある。協働推進課では男女共同参画推進委員会を設置し、企業や関係する団体に参加いただき、取り組みについて協議している。委員のご意見については、担当課に伝える。

○委員

川口市には外国籍のかたが多く住んでいるが、今回の計画について、多言語化して周知を行うのか。

○事務局

今回のパブリック・コメントで使用する資料は、日本語だけになると思う。多言語化については今後の課題としたい。

3 閉会